

令和4年度 日本史Aシラバス (地理歴史)

学番56 新潟県立八海高等学校

教科 (科目)	地理歴史 (日本史A)	単位数	2	学年 (コース)	2 学年 (スポーツ・福祉・ビジネスコース)
使用教科書	実教出版『新日本史A 新訂版』				
副教材等	実教出版『新日本史A 新訂版 演習ノート』				

1 学習目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うため、以下のことに重点を置く。

- ① 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考察させる。
- ② 歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	第1章 近代国家と社会の形成 1 世界と東アジア 2 近代国家の誕生 3 近代社会の形成	教科書 演習ノート プリント	・開国の状況やゆれ動く幕末の政治や社会について考察する。 ・明治維新の取組や自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などにより、近代国家が形成される過程を理解し、現代の社会との結び付きに気付かせる。	12	定期考査 課題等の提出 授業への取組
5			・日清・日露の2つの戦争と当時の日本をとりまく国際情勢を理解する。 ・韓国併合について考察を深める。 ・産業革命の進展と社会の変化について、現代の社会と対比させながら、考察する。	8	
6			第2章 二つの戦争と大日本帝国 1 日清戦争と日露戦争 2 帝国形成期の社会	・大正デモクラシーについて考察する。 ・第一次世界大戦とその当時の社会情勢を理解する。 ・ヴェルサイユ体制と日本をとりまく国際情勢について考察する。	
7	第3章 帝国とデモクラシー 1 大正デモクラシー 2 ヴェルサイユ体制とロシア革命			8	
8	第4章 デモクラシーの展開と帝国の変容 1 都市化と市民文化 2 東アジアの情勢と恐慌		・近代市民文化の形成と人々の生活の変化を考察する。 ・日本経済の行き詰まりと昭和恐慌について理解する。	8	
9	第5章 アジアの戦争と第二次世界大戦 1 日中15年戦争 2 アジア太平洋戦争		・満州事変から日中戦争までの過程を理解し、日本が泥沼の戦争に突入した背景を考察する。 ・太平洋戦争の経緯を、国民生活への影響に配慮しながら理解させる。	12	
10			第6章 現代日本の源流 1 戦後世界と日本 2 冷戦と日米安保体制	・日本の占領と民主化政策、日本国憲法の制定について理解する。 ・冷戦構造が、現代にいたる日米安保体制の構築につながっていることを考察する。	
11	第7章 冷戦のなかの経済成長 1 高度経済成長下の日本 2 経済大国		・高度経済成長期の日本社会の変化を理解する。	5	
12	第8章 現代の日本 1 転換した世界のしくみ 2 現代日本の課題		・現代日本の抱えている課題を考察し、その課題を主体的に解決する自覚と資質を養う。	5	

計64時間 (55分授業)

4 課題・提出物等

・作業プリントや課題についてまとめたレポート、授業ノートなどを提出する。
・プリント作業などを通じて、授業の理解状況を把握する。

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
各単元の学習内容のポイントを意識して、授業中の諸活動 (説明を聞く、ノートをとる、課題を考える等) に取り組むことができる。	自分の知識や考え (意見・判断) を場面に応じて適切に表現するとともに、資料 (または史料) を用いて説明ができる。	図や資料 (または史料) 等を正しく理解し、歴史的な思考力をはたらかすことができる。	各単元の学習内容を相互に関係するものとして「歴史の流れ」の中で理解することができる。

以上の観点をふまえ、①授業の取組 (出席、授業態度、学習活動への参加状況など)、②ノート提出やプリント・課題提出など提出物の内容、③定期考査などから総合的に評価する。

6 担当者からの一言

日本史の授業では、多くの用語 (人名や事件名等) が出てきます。その一つ一つをバラバラにみていると「全体」が見えなくなります。それぞれの出来事の関連を意識し、「全体」を一つの「流れ」として見ていくようにして学習を進めていく必要があります。はじめは苦勞するかもしれませんが、慣れれば難しいことはありません。一緒に頑張っていきましょう。